

2018年(平成30年)7月オホーツク管内倒産集計

30年8月6日

株式会社 東亜リサーチ

北見市常盤町3丁目16番42号

Tel (0157) 23-6288

Fax (0157) 24-1033

5か月振りに発生ゼロ 累計発生件数前年下回る

今年3度目の月間発生ゼロ

■前月比	件数	2件減少(平成30年6月)	2件)
	負債総額	9,000万円減少("	9,000万円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	同数(平成29年7月)	0件)
	負債総額	同数("	0円)

平成30年7月の発生状況

平成30年7月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生件数がゼロだった。

これは前月と比較すると件数で2件、負債総額では9,000万円のそれぞれ減少。発生ゼロだった前年同月比では件数、負債総額ともに同数。月間発生ゼロは2月以来で、5か月振りとなった。

例年稼働期である7月は発生が少ない月であり、過去5年間をしてみると25年に1件発生した以降、26年、27年、28年、29年と4年間連続して発生ゼロで推移しており、今年も発生がなかったことから、7月の発生ゼロは5年連続となった。

過去5年間と今年1～7月の発生推移

今年1～7月の発生累計は件数が10件、負債総額で11億4,400万円となった。これは前年同期間と比べると件数で5件の減少だが、負債総額では4億7,700万円の増加となった。過去5年間の発生推移は【下・表】の通りで、平均件数は10.6件、同負債総額で13億4,776万円。今年は件数、負債総額ともに平均値内に止まっている。

地区別発生では北見市5件、紋別市2件、網走市2件、清里町1件。業種別では卸・小売4件、製造2件、建設、サービス、飲食・ホテル、車輛が各1件。主要因別では販売(売上)不振が9件、代表死亡1件。表面化別では法的処置6件、弁護士一任3件、2回目不渡りが1件となっている。

過去5年間と今年1～7月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
25年	12件	15億9,480万円
26年	8件	11億5,400万円
27年	7件	11億600万円
28年	11件	22億1,700万円
29年	15件	6億6,700万円
30年	10件	11億4,400万円

1～7月主要因別倒産件数

主要因	29年件数	30年件数
販売不振	12	9
回収難	0	0
過当競争	1	0
連鎖	0	0
計画失敗	0	0
放漫経営	0	0
旧債重荷	0	0
代表死亡	2	1
その他	0	0

30年月別倒産件数・負債額

年月別	件数	負 債 額
1月	0件	0円
2月	0件	0円
3月	5件	5億6,600万円
4月	1件	2,000万円
5月	2件	4億6,800万円
6月	2件	9,000万円
7月	0件	0円
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
合 計	10	11億4,400万円
29年合計	15	6億6,700万円
前年対比	▲5	4億7,700万円

1～7月地区別倒産件数

地区	29年件数	30年件数
北見市	9	5
網走市	1	2
紋別市	1	2
常呂郡	0	0
網走郡	1	0
斜里郡	2	1
紋別郡	1	0

1～7月業種別倒産件数

業種	29年件数	30年件数
農・林・漁業	1	0
建設	2	1
製造	2	2
卸、小売	2	4
サービス	1	1
飲食・ホテル	4	1
車輛	1	1
運輸	2	0
燃料	0	0
その他	0	0

1～7月企業形態別倒産件数

企業形態	29年件数	30年件数
株式会社	5	4
有限会社	4	3
特殊法人	0	0
個人	6	3

1～7月倒産表面化要因別件数

企業形態	29年件数	30年件数
法的処置	13	6
2回目不渡り	1	1
弁護士一任	1	3

今後の見通しと問題点

下半期のスタートである7月は、4か月連続だった発生が途切れ、5か月振りに発生ゼロとなるなど小康月となった。累計発生件数は前年を下回るなど低水準で推移しており、基調的には今後も小康状態が続く可能性は高いとみられるものの、景気の先行に不透明感が漂っており、楽観視は出来ない。

オホーツク管内企業の取り巻く環境は、売上停滞や減少、仕入商品、原材料価格の上昇に加え、人手不足など抱える問題は少なくない。業態維持に腐心する小規模、零細業者の中には、こうした問題を克服する余力がなく、疲弊して息切れするケースが今後も散発的に発生するものと見られる。当面は低水準での一進一退を繰り返しながら、長期的には増加傾向に向かうことが予想され、秋口からの動向が注目される。